

レクリエーション かながわ

スコール

(S C O L E)

発行日 平成8年5月15日
 発行 神奈川県レクリエーション協会
 編集 広報委員会
 事務局 〒221
 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1
 神奈川県スポーツ会館内
 電話 (045)320-2430
 FAX (045)320-0640

かながわレクリエーションネットワークをサポートする



ヒューマンロコモーション(チャレンジ・ザ・ゲーム)

時評

「レク協は
今後どうなる
のか」
いくのか



理事
相川 健

「レク協とは何なのか。何をどうすべきなのか」そして、「今何をやるのか、今後どうなっていくのか」をお考えになったことがありますか。実にシンプルな、そして重要な問題だと思います。

数年前JOCが独立し、体協は、国民スポーツ、生涯スポーツを中心にすることが決まり、路線を大きく変更された。

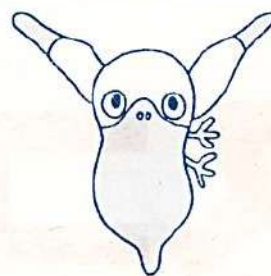
これを機に、ニュースポーツやマインナースポーツが、この五年間に八団体も体協に加盟された。成績を競うより、生涯スポーツとして多くの人に楽しんでもらうのが第一。体協に加盟する最大の目的は、社会的評価を得るためだろう。

レク協は、レクリエーション活動の領域からすれば、さまざまな事業項目が考えられるが、生涯スポーツでは体協とレク協の使命がバッティングしており、その線引きをどう求めるか。体協とレク協の統合を考えるのか。近年スポーツ環境が大きく変化している時、早急にこの問題を解決する必要があると思われれます。

あなたに拍手 障害者スポーツ大会)

フェスティバル

「ふれあいスポーツフェスティバル」が開催されました。国体と同時に開催される「第34回全国身体障害者スポーツ」を基本理念に、障害者も健常者もともに参加できる場所として企画されました。ベタンク、ターゲット・ザ・ゲームに、200人以上の参加者があり、



オープニングに拍手!!
(開会式)



ホールインに拍手!!
(ターゲットボードゴルフ)



こう持つんだヨ
ありがとう おじさん!!
(ダーツ)



※相手球に直接当てること

※ ナイスティールにおもわず笑顔!!
(室内ベタンク)

参加者の声

- ◆ こんなスポーツがあるとは知りませんでした。友達とまたやりたい。(相模原市・ユニカールに参加の女性)
- ◆ かけ声で一斉に投げて、つかまえる。相手がつかまえやすいように投げたつもりですが、なかなかうまくいかなかった。楽しかった。(秦野市・リングキャッチに参加の女性)
- ◆ 子供と参加、輪投げ以外は初めて体験します。大人の方が夢中になっています。(川崎市・輪投げダーツに参加の家族)
- ◆ 初めて体験しました。続けてやってみたい。(相模原市・ターゲットボードゴルフに参加の男性 六十代)
- ◆ やみつきになりそうです。(横浜市・パスラビーに参加の女性 三十代)
- ◆ ルールもかんたんで、すぐに出来ました。これからも続けたい。(川崎市・ベタンクに参加の女性)
- ◆ あまり体力が必要なく手軽に出来るところがいいのでは。(横浜市・ユニカールに参加の男性)
- ◆ 家族で参加、全て体験しました。天気の良い日は外に出て良かったのでは、と思いました。(相模原市・ターゲットボードゴルフに参加の家族)



ファインプレーにヤッターへの笑顔!!
バスラリー
(チャレンジ・ザ・ゲーム)



笑顔がさわやか
(輪投げ)



ナイススローイングに拍手!!
(ユニカール)

飛びかうドーナツ? いえ リングに
歓喜の拍手!! (リングキャッチ
チャレンジ・ザ・ゲーム)



決まってるヨ
ダーツフォーム
(ダーツ)

あなたと握手 (第34回全国身体 かながわゆめ大会 ふれあいスポーツ

去る3月31日(旧横浜ラポールメインアリーナにおいて、このフェスティバルは、平成10年に行なわれる神奈川ツ大会)へ向けたものです。「障害スポーツから生涯スきるニュースポーツの普及啓発を目指しています。参加健常者と障害者が理解し合え、幼児から年配者までが参ットボードゴルフ、ユニカール、ダーツ、輪投げ、チ会場は熱気につつまれました……。

日本身体障害者スポーツ協会が公認したスポーツ指導員で、神奈川県では、厚木YMCAで年3回指導者養成を実施、現在県内には四二三名の皆さんが活躍しています。

『スポーツリーダー』

(愛川町・男性・ターゲットボードゴルフ指導者)

◆特別のルールは作っていません。通常実施しているルールに沿って進めています。

(スポーツリーダー・女性)

◆結構盛りあがって、一体感があつたと思います。皆さんに色々とお知

えていただきました。

(インストラクター・女性二〇代)

◆皆さんそれぞれ楽しんでいただき、

自分自身も楽しい体験をしました。

これを機会に手話の勉強をしたい。

(逗子市・スポーツリーダー・女性)

◆皆さんそれぞれ楽しんでいただき、

これを機会に手話の勉強をしたい。

自分自身も楽しい体験をしました。

これを機会に手話の勉強をしたい。

自分自身も楽しい体験をしました。

これを機会に手話の勉強をしたい。

自分自身も楽しい体験をしました。

これを機会に手話の勉強をしたい。

自分自身も楽しい体験をしました。

これを機会に手話の勉強をしたい。

自分自身も楽しい体験をしました。

これを機会に手話の勉強をしたい。

自分自身も楽しい体験をしました。

これを機会に手話の勉強をしたい。

FACE

私とレク 〈5〉



細田山治菊枝さんご夫妻（横浜市）



大隅ミヤさん（海老名市）

FACE私とレク、シリーズ5回目は、人との出会いを財産にと更に夢をふくらませる、海老名市の大隅さんと、いつも御夫婦で若々しく活動されている横浜市の細田さん御夫妻に登場していただきました。

人との出会いを財産に
更にふくらむ“夢”

我が人生に悔いなし。レクが本当に好きだから、人との出会いを財産に、かわりに「お金なし」の人生。

昭和二十四年健民指導者講習会に参加したのがきっかけ。以来市の各種行事に参加。様々な人との出会いに心あたため、昭和五十年より地域の人に呼びかけながら、身障者の合同体育祭の指導、福祉施設でのレクダンス指導を通して福祉活動をしています。

昨年ハワイで第一回ホノルルフェ

秘伝二人での レク共同作業

高橋慎市先生にお願いして、フォークダンスのサークルを作り十年です。もちろん今も現役、多くの仲間の方さんと夫婦で月二回楽しんでます。

夫婦喧嘩をするも、レクです。とぼけながら女性側に勝を譲ります。この運用の妙は、蝸牛角上の事を理解、熊の一寝りで終り。これが秘訣で、夫婦共同のレクの始まりです。最後に、あの世ゆきの豪華な特別

ステイバルに県民踊連盟として参加。ハワイ市長さんとの出会いをはじめ、世界各国の人とと輪で踊りを通して交流、国際化にむけて喜びを感じています。

二年後の国体に向け、体に覚えたリズムで、さらに財産を増していきたいと夢はふくらむばかりです。



福祉施設でのレクダンス指導

仕立ての専用急行列車がお迎えに参る前に、皆様方に御世話になった御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。



なごやかな雰囲気
でさあ レッツダンス

国際交流に一役!!
ハワイ市長を囲んで
(第1回ホノルルフェスティバル)
(右端が大隅さん)



ざ・せんもんいん

— 認定委員会 —

神奈川県レクリエーション協会の事業の円滑な運営を期待するため理事会の議決を経て誕生し、現在活動している十ある委員会のひとつです。主な活動内容は、次のとおりです。

- 一、レク・インストラクター養成講座申請についての審査

県レク協会加盟の各団体、および専門学校等から提出される申請書の内容(時間数・講師・内容等)が、県レク協会認定基準にそっているかどうかを審査し会長に報告します。

- 二、レク・インストラクター養成講座のための公認講師の養成・研修

公認講師を、県レク協会「公認指導者資格認定規定」に基づいて養成し研修も行っています。

* 第1回、2回は省略

第3回 「健康づくりとレクリエーションの課題」 県立体育センター

平成8年6月8日(土)	講義内容
13:30~14:30	理論 8 現代社会におけるレクリエーションの課題
14:30~15:30	理論 9 心身の健康づくりとレクリエーションの関係
15:30~16:30	実技 8 ソングの実技と指導法(3-2)

第4回 「余暇生活を考える」 県立体育センター

平成8年6月22日(土)	講義内容
13:30~14:30	理論 10 余暇相談の考え方と範囲
14:30~15:30	理論 11 余暇生活設計の考え方と目的
15:30~16:30	実技 9 ダンスの実技と指導法(3-1)

第5回 「小集団グループとレクリエーションの関係」 県立体育センター

平成8年7月6日(土)	講義内容
13:30~14:30	理論 12 小集団・グループの理解
14:30~15:30	理論 13 グループレクリエーションの目的・場面
15:30~16:30	理論 14 グループレクリエーションの展開法

第6回 「余暇活動実技の実際」 県立体育センター

平成8年7月28日(日)	講義内容
10:30~11:30	実技 10 各種余暇活動種目の実技(5-1)クラフト
11:30~12:30	実技 11 各種余暇活動種目の実技(5-2)クラフト
13:30~14:30	実技 12 ダンスの実技と指導法(3-2)
14:30~15:30	実技 13 各種余暇活動種目の実技(5-3)クラフト
15:30~16:30	実技 14 各種余暇活動種目の実技(5-4)クラフト

第7回 「事業の企画から実施まで」

平成8年8月2日(金)	平塚市青少年会館
19:00~21:00	指導運営スタッフ 第3回夏休み子どもプレイランド企画会議
平成8年8月24日(土)	平塚市青少年会館
11:00~16:45	指導運営スタッフ 第3回夏休み子どもプレイランド実施(準備・片付けを含む)
	プレイランド実施時間 13:30~16:00

* 第8回以降はスコレ第29号にて広報します

平成八年度レクリエーション・
コーディネーター専門科目
第1期講習会兼レクリエーション・
インストラクター養成講習会スタート!!

春、春と言えば、入学、入社、新緑…新たなものが始まり、生まれる季節です。五月から始まるかながわレクスクールを皆さんの身近な人へお知らせください。

問い合わせ先 神奈川県レクリエーション協会
事務局 〒221 神奈川県神奈川区三ツ沢西町3-1
神奈川県立スポーツ会館内

電話(045) 320-2430 FAX(045) 320-0640
(6月1日からは、新住所となります。)

よろこびを広げよう! -逗子市-



市民レク大会 ラージボール卓球

市民の生涯スポーツ活動の振興をはかる目的で、平成六年度から種目を増やし、大会を二日間開催することとなりました。二年目の本年は市民体育館、逗子市立小学校を会場に、三月九日には、日本民謡と新しく取り入れたラージボール卓球に、十日にはソフトバレーボール・ゲートボール・フォークダンス・ラウンドダンスの六種目に、親しみ楽しむ多数の市民の人の輪ができました。

来年度からは新たに、ニュースポーツの導入を考えています。

急逝された目追会長の霊前に、大会が盛会裡に終了したことを報告することができました。

市民のレクリエーション活動の普及振興を目的に、昭和三十年五月に、第一回「逗子市民レクリエーション大会」を開催しました。以来、フォークダンス・日本民謡を中心に、若者や婦人が、楽しいつどいの会として親しんできました。その後は、婦人や高齢者が中心で、五十年頃からゲートボールが盛んになるとともに、男性の参加者が増えました。また、三百歳バレーボールをソフトバレーボールに変えてからは、青少年のチームが参加するようになりました。



市民レク大会 ゲートボール

第14回 会員研修会(2/24~2/25)
厚木市立七沢自然教室を
会場に開催!!

会員研修会も第十四回目を迎えた。今回のテーマは『レクリエーションと環境・心の豊かさを求めて「自然」春の息吹を肌で感じられる丹沢山の懐、厚木市立七沢自然教室を会場に、一泊二日で実施されました。

「物質社会の中で時間に追われ、人間関係で疲れ気味の時、七沢自然教室への坂道を歩きながら、心地よい疲れがいつの間にか軽ろやかな弾む気持ちに変わった。」とある女性会



バトラー? 女性 絶対な女性
頭張れ 頭張れ 男性!!
イニシヤチブゲーム
クモの巣



お尻をのせて
ハイポーズ
(デッカイワ〜!!)



研修スタートから笑顔 笑顔...
心豊かな参加者のみなさんです

ゆるやかな時の流れ。五感(触覚、視覚、聴覚、臭覚、味覚)を十分に働かせ、小鳥のさえずりを心で聞く。自然との対話の中で、参加者を瞬く間に、無邪気な子どもに帰らせる、藤野講師の魅力的な語り。楽しくてやりたくなるイニシヤチブゲームをワイワイ・ガヤガヤ体験させてくれた、渡辺・瀬尾の両講師。

自然教室の食事は最高に美味しく、快適な絵ぶる。居心地良く、楽しく研修できるよう、細かい配慮をしてくださった職員の皆様にも感謝です。自分らしく生きることを自然から学び、心の豊かさに触れた研修に『また、企画してね』『楽しかったです』と、満足の笑顔で、お猿の散歩道を帰る、つく参加者でした。

多くの参加者で賑った

『賀詞交換会』

一月二十七日(日)、横浜の関内において、「賀詞交換会」が開催された。今年日本レク協から吉田専務理事が駆けつけてくださったのをはじめ、県スポー課、生涯スポーツ振興会議からもご出席があり、年頭にあって温かい励ましの言葉をいただいた。

乾杯の後、県民踊連盟による「ことはぎの舞」が披露され、宴会に。名刺交換や交流ゲームに興じるうち、ピング大会。景品は総額ン?万円の豪華版。参加者60名、みんな笑顔でお開きとなった。ゲームと交流に熱心のため、お酒飲み放題の割にはメーソトルが上がらなかつた健全(?)な一日。事業委員会ではもう来年の景品は何にしようかと検討中。

神奈川県レクリエーション協会
事務所移転のお知らせ!

6月1日(日)より下記住所に移転します。

〒231
横浜市中区山下町54
神奈川県庁山下分庁舎5F
神奈川県レクリエーション協会
尚、電話番号、FAX番号は決まり次第お知らせします。

ふれあい
♥おたよりBOX♥

年4回の発行ではスピードが遅く情報提供という点ではほとんど役に立たないと思っている。考え方や意見、エッセイなどでも良いのでは。(東京・川村)

編集後記

平成六年の五月に広報委員会が独立した委員会になりました。それから、ちょうど二年。この間、七号のスコレを発行しました。四人の精鋭(?)編集委員が二ヶ月に三回のペースで会合を持ちました。右手にペン、左手にパン(?)で、悪戦苦闘したものです。直接取材も積極的に行い、見やすい紙面作りを心がけました。紙面も大きくなりました。さて皆さんの評価はいかがでしょう。今後、身近な情報誌として可愛がってください。(井上)

